

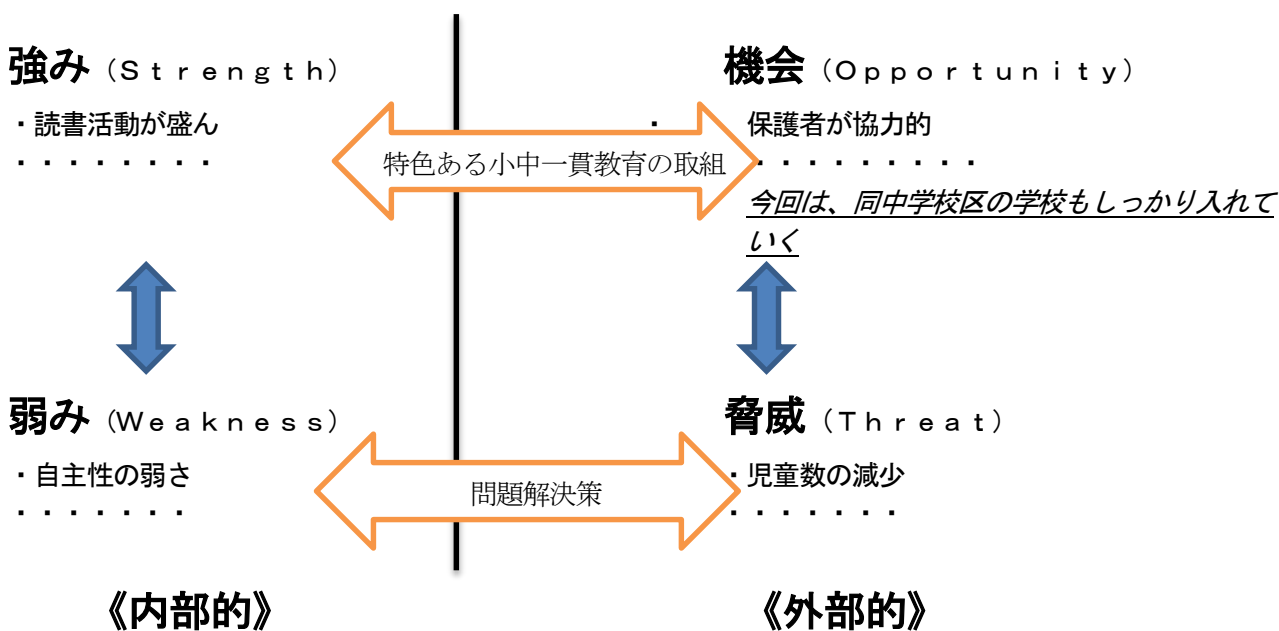
## 語りのシナリオ

SWOT分析とは、企業が主にマーケティング戦略や企業戦略を立案するときに用いる手法で、その組織の置かれた環境を内部と外部に分け、内部の「強み (Strength)」と「弱み (Weakness)」を明らかにするとともに、外部環境を「機会 (Opportunity)」と「脅威 (Threat)」に分類・整理することをいいます。この分析を行うことで、今置かれている状況を客観的に把握することが可能になり、手の打ち所が明確になるといわれています。4つの言葉を合わせて、SWOT分析と呼びます。

本市の小中一貫教育は、年々各中学校区で工夫や実践が見られています。

だからこそ、さらにこれから小中一貫教育をどのようにコーディネートしていくか、この分析法を活用して考えてみましょう。

## 〇〇 学校の分析



例 児童生徒、教職員、学校評議員  
PTA、児童会・生徒会、  
校舎、グラウンド、予算  
校風・伝統、教育課程、研究

保護者、中学校区内にある学校、地域住民  
同窓会、幼稚園、保育所、スポーツ少年団  
子ども会、登校班、警察、企業、自然、産業

～SWOT分析をして、各校の特色ある小中一貫教育を振り返る～

時間	内容	備考
<b>1st STEP 我が校の分析</b>		
13:55	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SWOT分析について説明</li> <li>・あらかじめ座席をグループにしておく</li> </ul> △ テーマは、「小中一貫教育の有効性の高い具体的取組をみつけるです。」 では、今から10分で、書き出してみよう	・座席はグループ型
14:15	△それぞれの分析したものについて、グループ内で発表しましょう。5分 △発表以外の方で、計時をしてください。時間になったら、途中でも止めて、次につつってください。時間があまったら、時間いっぱい感想や、聞いている側が特に強みについて付け加えてあげましょう。	・キッチンタイマー
<b>2nd STEP</b>		
14:20	△では、今回は「強み」と「脅威」を生かす特色ある活動を考えてください。思いつくだけ付箋紙に何枚も書いてください。質よりも量が大切です。 △当然これまでやってきているものも書き出します。 △計時の方は、3分お願いします。	・付箋紙
<b>3rd STEP 着手の難易、効果の大小</b>		
14:32	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用紙を中学校区1枚配付</li> </ul> △では最後に、紙にかいてある付箋の内容を、「着手の難易度」と「効果の大小」を考えながら、紙に整理していきましょう。 △話し合いは、中学校区同士でおこないます。少ないのは2校、多いところは4校となります。 △計時は、単線型は1校6分、複線型は4分、施設一体型は1校3分	用紙(中学校区ごと)
<b>4th STEP 今後の取組でさらに力をいれたいこと</b>		
14:40	△最後に、今後のとりくみで力をいれたいことを話し合ってください。7分 発表や感想を書いてもらう	付箋

波音小	泉井小
施設一体型	
象意小	葉乗中

親交小	仕舞中
単線型	
仁連小	日南中

沼間小	穂李小
複線型Ⅱ	
名類中	

元愛小	麻里小
複線型Ⅰ	
屋無為中	

( ) 学校のSWOT分析

<p>強み (Strength)</p>	<p>機会 (Opportunity)</p>
<p>弱み (Weakness)</p>	<p>脅威 (Threat)</p>

着手・易

難

効果・大



小